



やあめ

出初め式



右へならい！（中央保育所幼年消防団）

1月5日

目次

- ・年頭にあたり 田山議長 2
- ・村の預金 財政調整基金残高6億円 3
- ・12月定例会 4
- ・ダムの動き 6
- ・村づくりを問う！ 一般質問 8
- ・経済常任委員会 12
- ・人吉下球磨消防組合議会定例会 13
- ・先例地視察 13
- ・シルバー人材センターの設立の考えは
～「追跡」あれからどうなった？～ 14
- ・20才のメッセージ 15
- ・企業責任として雇用の維持を目指して
～産業シリーズ～ 16



放水競技

平成二十一年の年頭にあたり謹んで
新年のごあいさつを申し上げます。

村民の皆様方には、ご家族揃ってすこやかに新春
をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。



議長 田山淳士

昨年を顧みますと、川辺川ダム建

設計画に対して、8月末には相良村

の徳田村長が「現時点では容認し難

い」、9月の人吉市議会定例会冒頭

では田中市長が「白紙撤回」及び熊

本県議会定例会冒頭では蒲島知事が

「現行の川辺川ダム計画を白紙撤回し、ダムによらない治水対策
を追求すべきであると判断した」とそれぞれ川辺川ダム建設反対

を表明されました。誰もが予想だにしていなかったため大変な驚

きでありました。早速、議会と執行部で上京し、国土交通大臣、

国土交通副大臣、河川局長及び関係課長、県選出国會議員に「五

木村の再建を求める提言」を行い、更には、熊本県知事に対して、

「五木村再建対策条例（仮称）の制定」について要望を行いました

たが県知事は提案しないということから、先の熊本県議会定例会

において議員提案がなされ、全会一致で可決されました。また、

12月中旬には国土交通大臣、河川局長、県選出国會議員へ「五木

村生活再建整備事業費の予算確保」の要望活動をした結果、

21億円の生活再建事業費として確保されたと聞いております。本

村は、下流域の生命・財産を自然災害から守るものとして42年間

様々な苦勞の歴史を刻んできたと思えば、3首長のダム建設反対
に対する表明に強い憤りを感じざるを得ません。村は平成8年の
本体着工調印以来、今までダムによる村づくりを言い続けてきま
したが、これからも頭地大橋や防災の五木ダム、頭地代替農地及
びイベントに必要な駐車場の整備等今すぐ整備しなければなら
ない事業が山積みしておりますので、関係機関に対し本村の置か
れている現況の理解を求めつつ、毅然とした態度で対応していく
所存であります。

なお、こうしたダム問題と共に本村では人口の減少・少子高齢
化に歯止めが掛からない危機的な状況にあることも大きな問題
となっております。そのため議会では雇用の場が可能となり得る産
業振興策を押し進めることが最重要課題と認識し、生産年齢人口
対策特別委員会を設置して対策を検討しております。

本年は今までに無いような村行政の取り組みに期待し、村民の
皆様はもとより私たち議会も執行部と一体となって対策を講じ、
これまで以上にこの難局に強く立ち向かっていくことが重要であ
ると改めて強く感じているところであります。

また、議会は村民の代表する組織でありますので、議会の傍聴
にも是非お越し下さいますよう改めてお願い申し上げます。

新春を迎え、これからがますます寒さが厳しい時期となりま
す。村民の皆様のご多幸とご健勝を心からご祈念申し上げます
年頭の挨拶といたします。

平成21年1月30日

村の預金

財政調整基金残高6億円

平成19年度、決算認定審査特別委員会が平成20年11月12・13日の2日間、全議員と村長以下、全課長・課長補佐の出席で開催し一般会計と特別会計の歳入・歳出決算書の認定を4項目の意見を付けて全会一致で認定しました。また、一般の家庭における貯金に当る「財政調整基金」の平成19年度末現在で6億円余りの残高であったので、その用途をどう住民生活に反映させて活用すべきか改めて検討する必要があるとして特別委員会より役場、行政の執行部へ強く要望をした。

決算認定審査特別委員会（委員長・早田吉臣）は、議会議員の全員で構成された委員会を開催しました。決算の認定は議会で決定した予算が適正に執行されたかどうかを審査すると共に各種資料に基づいてその行政効果や経済効果を測定し住民に代わって行政効果を評価することにあり、また、次年度の予算編成において、参考とされるべき報告です。このような観点から平成19年度の一般会計と

特別会計の歳入・歳出決算認定の審査を行い予算の執行については、歳入・歳出共に監査委員の決算審査意見書に報告されているように適正に処理されていたと認め、特別委員会としてはその上で以下の意見を付けて報告することになりました。

①リース関係について一般会計、特別会計においてリースでの支出があるが、パソコンソフトの更

新などの必要とされるリース及び購入して使用した方が良い備品の歳出の工夫をして財政改革に取り組まれることが臨まれる。

②指定管理者について、「道の駅」の管理運営は平成18年度予算で（株）地域総研からの経営診断と運営改善の報告書を活用し「道の駅」の初期の目的である五木村の核として牽引役になることを期待してまた、「やまめ

③財政指数について、本村の財政指数から見ると「実質収支比率」が10・3%、「経常収支比率」が94・9%と財政の硬直化が見受けられるので、基金の管理運営と収支のバランスを考えた来年度予算の編成が臨まれます。

④特別会計について、本来は独立採算が望まれるが「国民健康保険」「老人保健（平成20年度まで）特別会計」のようにどうしても一般会計からの繰り出しをしなければやむを得ない場合があるが、「簡易水道」



代替地下水処理施設

「農業集落排水」「代替地下水道」の3事業については収支のバランスのとれた将来の維持管理運営を見据えた歳入・歳出の工夫が必要となる。（現在、代替地下水道事業の管理費については、国土交通省が負担している。）

企業からの緑化寄附（200万円） に伴う、緑化費用を計上

平成20年第4回定例会が12月17日から19日まで開催され、「条例の制定」案件2件・「条例の一部改正」案件3件・「規約の一部変更」案件1件、「人事」案件2件・「指定金融機関の指定」案件1件・「補正予算」案件7件・「議員提案」1件の合計17案件を原案のとおり全会一致で可決しました。

一般質問では4名が村政について質しました。
又、交通弱者対策の一貫として、スクールバスの朝・夕時の空き座席を各地区住民の方に利用してもらおうと、1月8日から学校登校日にかぎり、生徒と住民のスクールバスの混乗試行が決まりました。

条例の制定

○五木村固定資産評価員設置条例

地方税法（昭和25年法律第226号）第404条第1項の規程に基づき、五木村固定資産評価員
に関する必要な事項を定めることを目的とする。

○五木村ふるさと寄附条例

子守唄の里、五木村を応援する個人又は団体から寄附金を募り、この寄附金を財源とし寄附者の思いを各種事業には反映させ、魅力あるふるさとづくりを目的とする。

条例の一部改正

○五木村税条例の一部を改正する条例

公益法人改革に伴う所要の改正を行う必要があり、併せて寄附金の種類を包括的にすることで、寄附金控除に対してより柔軟に対応することができるとする。

○五木村国民健康保険条例の一部を改正する条例

健康保険法施行令等の一部改正のため。分娩時に医療事故が発生した場合、必要となる補償額を確保するための掛け金として、被保険者に対し3万円の負担が発生するため、現在の出産育児一時金に3万円加算し38万円とするものである。



今年3月で廃校となる五木村立五木西小学校

規約の一部変更

○五木村立学校条例の一部を改正する条例
五木村立五木西小学校廃校に伴う条例の一部改正

○球磨郡介護認定審査会共同設置規約の一部変更
事務局を錦町からあさぎり町に変更

指定金融機関の指定

○肥後銀行に決定

出納事務の変化に対応し、出納事務を安全確実に処理するとともに、公金の効率的な運用を図るうえにおいて、現金の取扱いに熟知している金融機関を指定する必要性が出てきた為。

指定金融機関を選定する基準

- ① 信用性・経営規模
- ② 健全性・安全性
- ③ 経緯度
- ④ 利便性

12月定例会

一般会計及び特別補正予算

(単位：円)

	補正額	予算総額
一般会計	22,267,000	2,220,284,000
国民健康保健特別会計	2,415,000	202,841,000
老人保健特別会計	0	29,160,000
簡易水道事業特別会計	1,008,000	20,630,000
診療所特別会計	0	81,645,000
介護保健特別会計	38,714,000	196,769,000
代替地上下水道特別会計	0	8,403,000

人事案件

○五木村固定資産評価員に川辺尚也氏の任命に同意

○五木村固定資産評価審査委員に吉松猛氏の選任に同意

議員提案

○国の責任で安心・安全な国土づくりを求める意見書を内閣総理大臣・総務大臣・国土交通大臣に提出した。

〈提案理由〉

国家機能の重点化やスリム化が、小さな政府や国から地方への掛け声の中「行政改革」や「地方

補正予算の主なもの

総務費

○地方バス運行等特別対策補助金	11,506,000円
○路線バス沿線外定期運行委託料	276,000円

土木費

○村道九折瀬線緊急地方道路整備工事	9,000,000円
-------------------	------------

教育費

○北公民館修繕料	429,000円
----------	----------

林業費

○植樹用原材料費	1,736,000円
----------	------------

〈要請項目〉

1. 国の責任において安心・安全な国土づくりを進めること。
 2. 住民の安心・安全が脅かされることに繋がる国土交通分野における「地方分権改革」は行わないこと。
- 分権改革」の名のもとに進められている。現在、国が直轄事業としてすすめている国道や河川の整備や管理を都道府県移譲することが「地方分権改革推進委員会」で検討されており、これが実行されれば財政力のない地方の住民は河川整備の遅れから災害時には生命と財産が危険にさらされ、道路は十分な維持補修が出来なかつたり不便な生活を強いられるなど安心・安全が脅かされるとともに、益々中央との格差が拡大することは必至である。よって、住民の安心と安全を守り、建設産業と地域経済発展のため強く要請するものである。

「五木村ファンクラブ」の目標は 1000名

(和田村長12月定例会の提案理由、説明)

■村行政の報告

11月より「猪・鹿解体処置施設」が使用可能となり実働に入っている。これからは、解体保存と販売ルートの整備を進めていきたい。また子守唄祭りは反省すべき点多々あるので問題点の整理を含めて実行委員会を開催したい。そして11月20日から「五木村ファンクラブ」の募集を開始しているが、現在500人以上の申し込みがある。今後目標として、1000人ほどの会員確保をして五木村の情報の発信をして交流の活発化を図りたい。

シルバー人材センターの設置は21年度当初予算で計上し進めたい。地上デジタル放送の21年7月榊形山中継局の放送開始に向けて地域ごとの対策を考えたい。

12月定例会の主な議案は人事案件2件と一般会計予算補正の中に企業からの緑化寄附金「地域応援プロジェクト寄附金」に伴う緑化費用に200万円を計上しています。

支援を要望!!

—— ダムの動き ——



条例制定の要望(11月11日)

五木村再建を求める要望書

熊本県に財政支援を強く要望した。

蒲島知事が九月の県議会定例会で川辺川ダム建設は白紙撤回と発表されたことにより、川辺川ダム建設に伴う五木村生活基盤整備事業が着実に実施されるかが先行き不透明なために、今後の村振興に対する県の責任と財源確保を担保する必要があり、12月11日、熊本県知事と県議会議長に対して12月

の県議会定例会に「五木村再建対策条例(仮称)」の制定を要望した。

しかしながら蒲島知事は11月16日の五木村での意見交換では「村の振興は県議会ですらに約束し、実行にむけて動きだしている」として制定の約束はしなかった。

力する責務がある」として、五木村の振興計画策定、実施に必要な財政措置、五木村の振興に係る課題が、国の施策や予算に反映されるよう提案及び要請すること等を定めた「五木村振興推進条例」を議員提案し12月18日全会一致で可決された。

県議会が「五木村振興推進条例」を

全会一致で可決

12月の県議会定例会において、蒲島知事が提案しなかったため、自民党県議団が中心となり、異例の措置で四党派が共同で「これまでダム建設を強く推進してきた国と県は五木村が地方公共機関として危機的状況にあることを深く認識し、五木村の振興に最大限の努

力する責務がある」として、五木村の振興計画策定、実施に必要な財政措置、五木村の振興に係る課題が、国の施策や予算に反映されるよう提案及び要請すること等を定めた「五木村振興推進条例」を議員提案し12月18日全会一致で可決された。

基盤整備と財政

「五木村基盤整備に関する」 提言書を国・県に提出

五木村と村議会は、今年度事業凍結分の早期発注と次年度予算の確保を求めて国交省や地元選出の国会議員に「五木村基盤整備に関する提言書」を提出した。



基盤整備の予算確保(12月22日)

要望内容

- ◎付替国道の早期完成(九折瀬く神屋敷)
- ◎付替県道の早期完成(高野く頭地・頭地大橋)
- ◎付替村道の早期完成(久領く掛橋)(湖面橋・逆瀬川橋)
- ◎代替農地の早期完成(頭地・高野・逆瀬川・土会平)
- ◎生活用水の水源確保(元井谷)
- ◎大径木の移植(四本)
- ◎ダム湖周辺環境整備事業の早期完成(多目的広場造成)
- ◎資料館の建設
- ◎協定書等の履行

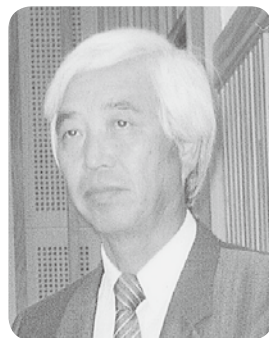
川辺川ダムをめぐる最近の動き

- | | |
|---|---|
| <p>10月16日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和田村長以下幹部職員で五木村再建対策本部設置 ・五木村の振興策を支援するため、県職員を派遣 <p>17日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊本県に基盤整備支援申し入れ <p>24日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・球磨郡町村長会・議長会が具体的治水対策について蒲島知事と意見交換 <p>26日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・頭地代替地への移転5周年記念式典 <p>28日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダム反対派がダム以外の治水対策を国・県に要望 ・ダムなしでの治水を国・県で検討 <p>30日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国・県に川辺川ダム建設促進協議会が早期のダム着工を要望 <p>11月11日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五木村再建対策条例の制定を熊本県と県議会に要望書提出 <p>16日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蒲島知事がダム建設反対表明後初めての村民と意見交換 <p>12月13日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自民党県連は五木村の生活再建基盤整備事業費確保に向け、県選出国会議員や知事、和田村長らと緊急懇談会を開く <p>15日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国交省が五木村の生活再建関連事業の予算執行を凍結していることが判明 | <p>18日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国と県が五木村の生活再建へ向けた基盤整備に関する協議 ・県議会議員提案により五木村振興推進条例を全会一致で可決 ・国に五木村基盤整備に関する提言書提出 ・国・県に今年度の予算執行と来年度の予算確保を要望 <p>19日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蒲島知事が五木村の振興策を国に要望 <p>22日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五木村基盤整備事業の21年度熊本県負担額予算確保要望 <p>平成21年</p> <p>1月7日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川辺川ダム建設促進協議会が五木村振興を求める要望書を県等に提出 <p>9日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五木村と自由民主党熊本県連役員との懇談会の開催 ・人吉市球磨郡町村会で五木村振興を求める要望書を県・県議会議長に提出 <p>13日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ダムによらない治水を検討する場」の初会合が開催される。 <p>26日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・球磨郡町村議会議長会が「ダムによらない治水を検討する場」の迅速な協議を求める要望を国交省・県に提出 |
|---|---|

を問う！

五木村再建対策条例(仮称)設置 要望の見通しは ——— 岡本議員

県議会で取り組み、全会一致 で可決している ——— 和田村長



岡本議員 熊本県に再生予算の裏付けとして五木村再建対策条例の設置を要望してありますが、その後の経過と見通しは。
和田村長 村長、議長名で蒲島知事、村上県議会議長に要望、提言を申し上げたところですが、熊

本県知事は執行部から提案する予定はないと言うことで、県議会の方で取り組んでいただき、全会一致で可決しております。
岡本議員 条例が出来ても必ずしも予算化されるとは限らない。21年度予算についても詰めておくべきではないかと思うが、村長の考えは。
和田村長 県議会、五木村、熊本県の執行部の三者で協議の場を設けて、予算をどうゆうふうに張り付けるか中身の協議をいたさなければ実行性がないので、それについては議会とも相談しながら進めていきたい。
岡本議員 次元は違うかも知れないが、過去に水俣病問題でチッソ存続、水俣、芦北地域振興対策を国、県で取り組んでいたと思えます。これも水俣市が潰れるか否かの問題であって、国、県の責任は同じだと思います。むしろ川辺川ダムの方が五木村に対する国、県の責任は非常に重い。21年度当初予算で五木村内の事業予算が

付かない場合は村の再建が一層遅れることになるが、国、県に今後どう強く働きかけていかれる考えは。
和田村長 川辺川ダムは一企業じゃなくて国、県が起こした事業で、その責任は非常に重いと思っている。今後は十分基盤整備、また補償交渉が図られるよう強力に進めていきたい。
21年度の重点施策は
岡本議員 和田村政が始まってから1年が経過しているが、成果と21年度の重点施策はどのようなことを考えておられるか。
和田村長 私は幾つかの公約を掲げて皆さんのご支持を頂いた訳で、1年で解決できるものではないが、その中で総合窓口の設置、21年1月から村内バスの運行をスクールバスでの試行やブロードバンド化に向けての携帯、光通信の施工など公約の実現に向けて一生懸命取り組んでいるところですよ。
重点施策について五木村の再建対策

若年労働者の定着・施策は
岡本議員 若年労働者が定着できるような施策が急がれると思うが。
和田村長 今は交通事情がいいわけですから、五木に企業誘致ができなくても通勤できると言うことで、人吉球磨において企業誘致協議会をつくって、日頃から一生懸命に企業誘致に努めております。五木の場合土地がない、企業がない、仕事がないから帰ってこ



「五木村ファンクラブ」の情報発信書類

の推進を一本にしておりません。幾つかの体系的なものが出てくると思います。そうゆうものを網羅して予算に反映させていきたい。

ないということもあって、これが一番頭の痛い問題で、どうゆう産業を興すか、既存の産業をどう守るか、林業、農業をどう立て直すか、経済力が上がっていつて若者が定着できるような形にしていこうように一生懸命やっていきたい。
岡本議員 私も企業誘致は広域的に取り組まないといけないと思っております。しかし五木で取り組むべきものは五木で取り組まなければならぬと思えます。五木村はファンクラブを募集しておりますが、今の状況では対応できないと思えます。特産物の加工場をつくって対応していくべきと思うが、村長の考えは。
和田村長 小規模の加工施設については、産業課で補助金をだして何とかやっていたりしております。しかしながら、流通に乗せるような加工場は、個人では難しいので、必要に応じて考えていきたい。

村づくり

観光振興とイベント について

中村議員

村内の経済にどう影響を 及ぼすかが一番大事

和田村長



●子守唄祭りの商店
に与える影響また
対策は

中村議員 五木村は川
辺川ダム問題が不透明
さを増し、重大かつ深
刻な状況にある。村の
観光面に関わりの深い
商工業は川辺川ダムに

よる人口の激減、また、
さまざまな影響で経営
状態が非常に厳しく、
存続していくのが困難
になっている。イベン
トなど祭りが既存の商
店に与える影響、調査
対策はどのような考え
か。

和田村長 子守唄祭

りも昨年で20回目を数
え、今までは2日間の
イベントでした。私も
職員時代に携わったこ
とがあるが、お客さん
を呼べばいいというも
のでなく、継続的に、観
光客が少ない時にと考
え、今回は時期をずら
した。

経済効果について正
確には各商店の把握は
できず、出店について
は一過性であり経済に
どうこう言うほどな
く、村内の経済にどう
影響を及ぼすかが一
番大事な事と考えてい
る。

そのためには、観光
客が少ない時期に多く
の方に来て頂き、イベ
ントに使う予算を昨年
の半分ぐらいにできな
いかと、この二点にこ
だわり実施したわけ
です。
今後は五木の四季

折々に何かをする事が
大事だと思い、地域の
経済に寄与できればと
考えている。

中村議員 この祭りを

通し、いつも村長が言
われている、商店の方
にも元気が出る施策は
ないか。

和田村長 祭りを通

じてと言う事であれ
ば、ロングランでやる
とか、特色を工夫して
やるべきと思っていま
す。祭りのあり方も行
政主導より民間主導で
やって頂ければ、あり
がたいが、実行委員会
等で十分協議したいと
考えている。

地域の活性化がなけ
れば商業をされている
方は非常に困り、そう
いう意味ではやはり定
住人口を増やし、林業・
産業も含めて地域活性
の努力をすることだと
思う。

国・県において基盤
整備を早く進めて頂
き、それに向けて一生
懸命やりたいと考え
る。

●イベント実施に伴う
PR等の対応策は

中村議員 今年も11月
20日〜24日の5日間、

子守唄祭りが行われま
した。日程にも工夫が
なされ、花火大会では
村内外の人達に絶賛さ
れた素晴らしい祭りが
できたと思う。内容に
関して課題はあると思
うが、せっかくこのよ
うな祭りを実施するの
だから、ポスター等早
めの対応をし、一人
でも多くの方に来て頂
く事が最大の目的と思
う。

和田村長 ポスター周

知については、できれ
ば半年前ぐらいからし
なければならぬと思
っているが、今回もポ
スターの配布が二ヶ月
前ぐらいと遅かった。
次回からは新年度に入
り次第すぐに取り組ま
なければ間に合わない
と思うし、実行委員会
や皆様方と協議してい
きたいと考える。

●自然を活かした観
光開発は

中村議員 年間を通
じ、村を訪れる観光客
は五木にどのようなイ
メージを抱いているか
把握はしているか。五
木に満足して帰られる
方、一方想像していた

村と違うとの思いを
持たれる方もいるだろ
う。五木の自然を活か
すため、季節にあつた
草花・木々を植栽し、癒
しの空間を堪能できる
観光開発の考えはない
か。

和田村長 五木の場

合、ダム対策やハード
面には一生懸命になっ
ているが、ソフト面は
まだ余裕がなく、遅れ
ていると思う。水没地
でボランティアでコス
モスなどを植えておら
れる方もいて、必要性
は十分分かっており、
庁内や皆様とも具体的
な対策を協議したいと
思う。



昨年の子守唄まつり

を問う！

行政座談会の意見は

どうするのか。

早田議員

意見の集約をして議会とも

議論をしたい

和田村長

早田議員 平成20年11月

から実施されている行政座談会の参加状況と住民説明や意見の集約はどうなっているのか。

和田村長 参加状況は大体5割程度だろうと思う。説明については、10分から15分程度で、できるだけ住民の意見を多く伺いたいと考えている。

早田議員 住民からの主な意見はどのようなものが出されているのか。

和田村長 地域により多少違うが共通して多いのがダム建設に伴う「頭地大橋」次に「鹿・猿などの被害の関係」そして「地上デジタル放送」の対策が多く共通した課題だと思う。

早田議員 意見の集約はいつまでにされるのかまた、村長としてどのような

な方向で課題など解決されるのか。

和田村長 平成21年

1月中に行政座談会を終わる予定なので整理をして予算付けに反映出来るものは行い、宿題として残るものは残り、議会の皆さんと1日位かけて意見、議論をしたい。

●宮原・五木線について

早田議員 県道25号

(宮原・五木線)は現在、地図上は未開通となっているので、頭地大橋を出来るだけ早く完成して25号線を開通させるために道路に人吉・水上線のフルーティーロードのような通称をつけてアピールをするような方法は考

えられないのか。

和田村長 県道25号線を管理するのは熊本県

ですし、「県も五木村のためには一生懸命」とおっしゃっているので何かいい愛称があれば有意義だと思うので協議をしてみたい。

早田議員 アピールす

るためにも県道沿いに統一した樹木を植えて、球磨川沿線の国道219号線と高速道路の事故の時等の迂回路として活用して五木村を通ってもらいながらの税金アップにつながるように工夫をしてもらい、また今回、補正予算の中で五木村の振興のために企業寄付金(緑化)が200万円あるが、その樹木・苗木の選定や植樹のタ



イムスケジュールはどんなになっているのか。

下内産業課長 地域応援プロジェクトということで2社が事業展開をされます。

21年2月上旬までに協議を行い苗木の選定、場所の打ち合わせをして3月中旬位に記念植樹を行い、その後、関係する緑の少年団や地域の人と植樹をしたいと考えています。

早田議員

「人吉・球磨はひなまつり」という広域的なまつりがある



行政座談会

り、五木村も参加していますが、そのキャンペーンに雛祭りにちなんだ桃の木を五木までの道路沿いに植えて、すこしづつ増やしていくようなことは出来ないのか。

和田村長 国道の場合

は県の管理ですので協議を進めたいと思いますが、またボランティアでコスモスを高野の法面に植えましたので様々な形で取り組んで行きたい思います。

村づくり

後期高齢者医療制度の今後の対策は

山本議員



6年間程度、低減措置です。

和田村長

山本議員 本村の高齢化率40%という状況の中で、後期高齢者医療制度が始まり高齢者世帯では負担が大きいと聞くが、それに対して負担を少なくするために村長はどのように考えているのか。

和田村長 五木村は、後期高齢者、介護保険に関わる人口が多い。助成すると財源の手当が必要。できるだけ健康で過ごす施策を取りながら6年間程度低減措置でお願いしたい。

山本議員 東京都日出町の75才以上の後期高齢者は、医療費自己負担は来年度から町が全額負担、これはイオンモール会社の固定資産が3億5千万円入る。五木も企業誘致する考えはないか。

和田村長 企業誘致が

できるような土地の造成等については今後ダム対策法の中で議論しお願いしたい。

山本議員 蒲島知事もマニフェクトダイジェストにこれまでの人脈を最大限に活かし、4年間で誘致や増設を100実現するといっておられる。五木も特別に確約書を県、国に可能にする考えは。

和田村長 できるだけ県知事に努力をお願いし、我々も県知事と一緒にになってお願いしたい。

●農林業のこころ

山本議員 高齢化が進み、農地の放棄地及び森林の除間伐ができていない農家や林家を見受けるが、それぞれの面積はどれくらいあるのか。今後の対策はどのように考えているのか。

か。

和田村長 森林も農地も経営的に小規模面積も多い。間伐放棄地等については森林組合を通じ間伐促進し耕作放棄地については担当課で協議をしている。

山本議員 切り捨間伐は特に利用され家を建てる人が多い。村有林の切り捨て間伐を提供する考えはないか。

和田村長 当然、未利用地の活用、離村者の



耕作放棄地

跡地の活用、森林間伐材の活用、耕地も含め充分対応したい。

●教育の課題について

山本議員 教育者として30年間の経験を活かして、自ら県内の小・中学校を訪ねる「蒲島出前ゼミ」が行われているが五木村はいつ頃予定しているのか。

佐伯教育長 本年度五木村は申し出を見送り、今後状況を見て申し出をしたい。

山本議員 他町村は、地域住民も出席をしている。県でも、学校教育特別支援教育、地域教育等に取り組んでいるが、今後の取り組みは。

佐伯教育長 県と協議をしてやりたいと思っている。

特産品開発の現状調査

調査事項

特産品開発の現状調査について

猪・鹿解体処理加工施設が建設され、新たに特産品化を進めている現地調査及びヤマメ養殖場の調査を行った。

調査の結果

担当課からの説明は下記のとおりである。

【猪・鹿解体処理加工施設の概要】

所在地…五木村字池の鶴（旧五木中調理室）

名称…五木村猪・鹿解体処理加工施設

種類…食肉処理場

許可期間…平成20年11月4日～

平成26年11月30日まで

施設面積…80.10㎡

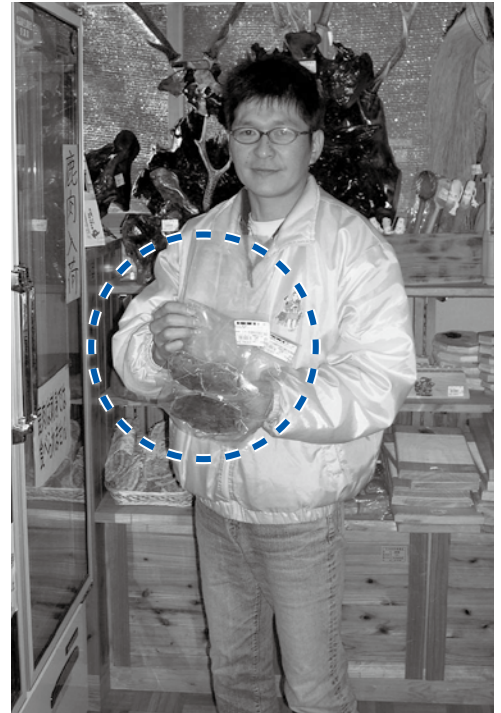
施設概要…解体下処理室・

加工室・包装室

整備概要 下水設備等 2,022,300円

内装改修 1,224,074円

機械設備 2,226,000円



道の駅「子守唄の里いつき」で販売が始まった冷凍鹿肉

【ヤマメ養殖場】(産業課)

平成20年度上半期販売実績（4月～9月）

生 魚				レストラン	塩焼販売	加工品
成魚	冷凍	稚魚	放流事業			
1,506尾	1,857尾	4,000尾	20,000尾	2,680尾	497尾	103袋

※放流事業の2万尾は村単独事業で6ヶ所に放流している。

まとめ

猪・鹿解体施設は、管理運営規則、利用規則等も出来ており、また、今年度の活動計画にもあるように福岡市及び東京都でイベントを行い、また、兵庫県のレストラン経営者との交渉等もあり販路拡大に期待されることから村としても支援をお願いしたい。

また、ヤマメ養殖事業については、管理受託者の管理も3年の経験を得、独学で稚魚のふ化についても勉強をして技術を取得して頑張っているし、本年度は管理料として480万円を支払うことになるが、今後のことを考えた場合にヤマメだけの管理をしてくれる人の検討も必要と考える。また、個人では甘露煮の委託を受け特産品化を目指して頑張っていることから今後はヤマメの販売拡大及び管理等を含めて村にも検討をお願いしたい。



道の駅「子守唄の里いつき」で販売されているヤマメの甘露煮

平成20年度第2回 人吉下球磨消防組合議会定例会（一般質問）

木下丈二議員

木下議員 五木村の水没予定地内にある北分署の移転予定地は温泉センター横に造成が完了したが、代替地での業務開始までの行程はどのようなになっているのか。また計画施設の概要については。

答弁 工程については、平成21年の4月に事務手続きを行い、梅雨明けの6月頃着工、3ヶ月から4ヶ月間で施工、10月頃の移転後開署の予定です。

施設について、現時点では相良村にある中分署程度の庁舎を考えていて敷地面積が概ね500㎡。建物は、建築面積390㎡、ヘリポートも隣接するので風圧や五木村の景観条件に考慮したものを予定している。庁舎移転の補償金については、平成20年度中に国土交通省と契約を結ぶ予定です。

木下議員 救急車による、北分署管内から人吉市内の救急病院への患者搬送は遠距離で、平均搬送時間も1時間30分要している。その現状の中、北分署に高規格救急車と救急救命士が配置されていないが、その経緯と今後の予定は。



現在北分署に配置されている救急車

答弁 北分署の救急車の更新は、平成9年2月であったが、その当時は消防署全体で5名の救急救命士（現在17名）しかおらず、高規格救急車を導入しても運用できない状況であった。そのため平成9年の更新時には、管内の地域性を考慮して四輪駆動車型の救急車を導入した経緯があります。

今後は計画的に配備を行い、高規格救急車の整備を進めたい。また、救急救命士については、財政事情はありますが、計画的に1、2年後には配置したいと考えている。

先例地視察

議会議員研修－木崎大橋・若あゆ大橋



木崎大橋

五木村議会では、頭地大橋の整備見通しが不透明なため、頭地大橋の線形を変更した場合の先例地を平成20年11月14日に全議員と石田総務課長・森田課長補佐で視察研修をおこないました。

頭地大橋については、橋脚部分の用地が取得困難なために、橋の線形を変えてでも早期に完成させ、県道25号線（宮原～五木）の利便性と地域振興を図るために線形の先例地として、宮崎市、「木崎大橋」（国道220号）と延岡市、「若あゆ大橋」（国道10号）の2箇所の視察研修を行いました。

大橋の曲がり半径は2,000m円形の一部カーブ（R 2,000）であれば橋脚部分の取得困難地の回避が出来るという国土交通省の説明により現存する橋を体感し現地視察を行い安全性、景観上、頭地地区の景観に合うような線形であるのか検討をした結果、違和感もないということからどうしても橋脚部分の用地取得が無理であるなら、頭地大橋の線形変更もやむを得ないのではないのかという一致した意見であった。



若あゆ大橋

追跡

あれから
どうなった？

議事だより「やまめ」では委員会や一般質問の要旨を掲載していますが、その後、担当課がどう取り組んでいるかを調査しました。

◎シルバー人材センターの設立の
考えは
平成17年6月一般質問
岩本議員

調査し前向きに進めたい
西村村長 平成17年6月答弁

再度一般質問でシルバー人材センター設立を問う
平成19年12月一般質問

需要があれば必要かと思うが、今のところ設置は困難
和田村長 平成19年12月答弁

20年度当初予算に調査費15万円計上してあるが進捗状況は
平成20年6月一般質問

20年9月定例会でアンケート調査結果報告
川辺住民課長 平成20年9月

結果 シルバー人材センター設立準備委員会で検討を重ね、設置することに決定 和田村長 12月定例会で表明

シルバー人材センターで取り扱う仕事の例



県パンフレットより抜粋して掲載

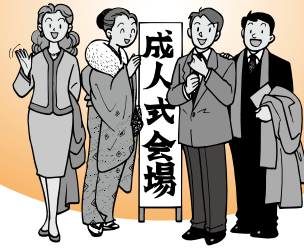
新成人になつて

おしやま
将明さん
まごあき

鷹山地区



20才の メッセージ



20歳になつて

くぼたゆか
祐加さん

平野地区



今年、成人式を終えて、いくつか考えた事があります。一つは、二十歳になって改めて責任感が増えてきたなと思います。これからは、社会のルールを守りながら頑張っていきたいと思います。二つ目の今後の目標は、東京に引っ越して、学校に行くことです。そのためには、今の仕事をがんばっていき

たいと思います。三つ目は、もっと村の事について考えていきたいなと思います。住んでいる所は違いますが、ニュースなどを見ていると、村の事が心配になってきます。五木村には、何十年たっても、帰ってきたくなるような村に発展してもらいたいです。

ほとんどの同級生と久々の再会をした成人式。中学生の時とは違い、たくましく思えました。

でも、実際に話してみると、あまり変わっていないかと、安心しました。自己紹介では、五木村で働いている人もいれば、五木村を離れて、勉学に励む人、社会人として働く人と、それぞれですが、皆頑張っている事が分かり私ももっと頑張ろうと改めて強く決意しました。

私は、高校と専門学校の4年間を五木村から離れ、鹿児島で過ごしました。

今は故郷に戻り、去年の3月から久領庵で働いています。

実際に働いてみて、厨房では、お客様に安全安心な商品を提供する事、一秒でも早くお客様に商品が届けられるようにする事を学びました。

また、五木村に来られるお客様が「また来たいなあ」と思っただような接客を心がけるようにしていますが、なかなか先輩方のようにはいきません。

これからも先輩方の接客を見て、学んでいきたいなと思います。

今まで、私達の成長を温かくみまもってくれた家族や地域の皆さん、お世話になった先生方、職場の先輩方へ感謝の気持ちを忘れず日々努力していきます。

議会の動き（1月～3月）

1月 9日	広報委員会・自由民主党熊本県連「新春の集い」(議長出席)・五木村と自由民主党熊本県連役員との懇談会(議長・木下ダム特委員長出席)	2月16日	平成20年度球磨郡町村議会議員研修会(全議員出席)
1月14日	ダム対策特別委員会	2月19日	第59回熊本県町村議会定期総会(議長・事務局長出席)
1月15日	球磨郡町村議会定例議長会(議長出席)	2月27日	人吉下球磨消防組合議会定例会(木下議員出席)
1月16日	経済常任委員会	3月 3日	議会運営委員会予定
1月20日	総務常任委員会	3月 4日	平成21年第1回人吉球磨広域行政組合議会定例会開会(山下・早田議員出席)
1月26日	平成21年第1回五木村議会臨時会	3月10日	平成21年第1回五木村議会定例会開会予定
2月 1日	「人吉球磨は、ひなまつり」オープニングセレモニー(議長出席)	3月27日	人吉球磨広域行政組合議会第1回定例会閉会(山下・早田議員出席)
2月 4日	球磨郡町村議会事務局研修(事務局長出席)		
2月13日	木原みのる君を励ます新春の集い(議長出席)		

企業の責任として雇用の維持を目指して

(株)三和生コン
(有)三和砕石

社長 瀬河 久代さん



横手の(株)三和生コン事業所

弊社は昭和46年8月に有限会社三和生コン工業所として宮園横手地区で創業、現在は(株)三和生コンと(有)三和砕石(平野地区)の二事業所を営んでいます。営業内容としては、建設基礎資材である生コンクリート・砂利・砕石の製造販売です。生コンクリートは販売エリアが限られることから、弊社の営業エリアは当五木村と泉町五家荘地区であり、公共事業への依存度が100%に近く、ここ数年の公共事業の削減(国の施策)、県知事の川辺川ダム建設反対表明等で、年々売り上げが減少すると同時に今後どうなるか、将来もみえません。そんな中、弊社

の従業員も全盛時に比べると約半分になりましたが、それでも現在、三和生コンが21人、三和砕石13人(パートを含む)が働いています。このような厳しい時代に一企業として「地域貢献」

として何ができるかを考えた時、五木村を住み良い村にするためのインフラ整備に生コンや砕石を安定供給することは勿論のことですが、今や大企業が期間従業員や派遣社員を大量リストラせざるを得ないような不況の中、企業責任として雇用の維持、すなわち大半が村民である従業員の生活を守ることが第一ではないかと考えます。

そのため、この厳しい時代を乗り切るため役員・従業員全員が一丸となって会社存続のため「顧客第一」で品質管理を徹底し、お客様に喜ばれるよう日々努力を続けています。

しかしながら、この厳しい現状では私も中小企業の企業努力だけでは限界があります。行政による景気対策がどうしても必要だと考えますので、議員の皆様にも村民の代表として頑張ってくださいと思います。

この五木村で37年間事業を営んでこれたのも、地元住民の皆様のご理解とご協力があつたからだと感謝しております。これからどうか、ご協力、ご指導の程をよろしくお願い致します。

編集後記

二〇〇九年が明け、川辺川ダム計画は、一九六六年七月の発表から四十二年目を迎える。

ダム建設をめぐる長年の混迷は、国・県・市町村における複雑な綱引きであった。昨年四月、県政のかじ取り役を引き継いだ蒲島郁夫知事。

マニフェスト(公約集)で掲げた「くまもとの夢」づくりへ向けた難題が山積みの県政も二年目になった。緊急課題の中で川辺川ダムは国、流域市町村と治水対策の検討が始まる。

金子一義国土交通大臣と合意した「ダムによらない治水を検討する場」である。治水対策の実施や五木村振興を前提にしている。五木村振興計画は、約束通り将来に向けて村民の幸福量が増大するよう実働してもらいたい。

Y・Y



今回の定例会は3月中旬の予定です
皆様の傍聴をお待ちしております。